

## 公益財団法人仙台観光国際協会 平成29年度事業報告

### [公益事業等]

#### 1. 観光振興に関する事業

観光客誘致により地域活性化及び国際交流活動の促進を図るため、各種事業を展開した。

##### (1) 海外プロモーション事業

行政及び民間企業等と連携して、アジア等地域からの外国人観光客誘致拡大を図ることによって国際交流の促進と地域経済の活性化を目指し、各種事業を実施した。

##### ① 誘致事業

プロモーション対象となるアジア等の都市において、観光目的地としての仙台の認知度を高めるため、仙台の魅力を一般市民向けにPRした。また、仙台の旅行商品造成や現地の雑誌等へ仙台の記事掲載を促すため、相手国の旅行エージェントやメディアを対象に誘致PR事業を実施した。

##### i. 旅行博覧会・商談会等参加助成事業

台北市で10月及び12月に開催したセミナー・商談会に参加する宿泊施設の渡航費用の一部を助成した。

##### ii. 台湾、タイでのプロモーション事業

ア 台湾、タイでの見本市への出展

- ・台湾：大台南国際旅行博 平成29年11月17日（金）～20日（月）
- ・タイ：タイ国際旅行博第21回 平成29年 8月 7日（月）～14日（月）  
タイ国際旅行博第22回 平成30年 2月 6日（火）～14日（水）

イ 台湾、タイへの各種団体・組織と連携した誘致営業

- ・仙台・タイ交流サポートデスクと連携したタイセミナー・商談会及び現地エージェントセールス実施（6月）
- ・台南市旅行商業同業協会と連携した台南・台北現地エージェントセールス実施（11月）
- ・秋保温泉旅館組合タイプロモーション（セミナー・商談会）及び現地エージェントセールス（12月）

ウ 西部地区体験型コンテンツ・インバウンド対応強化事業

- ・仙台西部地区体験型コンテンツのPRツール作成及び活用による台湾でのプロモーション実施（11月）

##### iii. 日本国内での商談会の開催

タイ現地エージェント関係者を招請し、商談会を実施した。

- ・招請期間：平成29年11月8日（水）～14日（火）
- ・招請者数：19社20名
- ・商談会参加社：日本側16社

#### iv. WEBを活用したインセンティブツアーの情報発信

インセンティブ専用ホームページ改修及び平成29年10月1日より韓国語・簡体字版を追加開設し、インセンティブツアー支援の情報発信拡散を図ることにより、インセンティブツアーの支援・国内対応などを強化した。

- ・インセンティブツアー支援の対応件数 24件  
(タイ3件, 台湾17件, 香港2件, シンガポール1件, 東南アジア地域1件)
- ・インセンティブツアーに関する海外エージェント国内対応支援 18件  
(タイ8件, 台湾8件, 韓国1件, インドネシア1件)

## ② 受入整備事業

海外からの旅行者が仙台に滞在中、快適に過ごすことができるよう、行政や民間企業と連携し環境整備を図った。

### i. 訪日外国人客受入整備事業

訪日外国人旅行者の受入れ環境の整備強化を目的に、物産販売施設・宿泊施設・飲食施設等を対象に訪日外国人観光客の受入セミナーを開催した。

平成29年度外国人観光客対応力向上セミナー

- ・第1回 接客中国語会話(物販編) 平成29年10月26日(木) 7名参加
- ・第2回 接客中国語会話(宿泊編) 平成29年11月 8日(水) 17名参加
- ・第3回 接客中国語会話(飲食編) 平成29年11月 9日(木) 11名参加
- ・第4回 接客英会話 平成30年 1月25日(木) 28名参加

## (2) 国内プロモーション事業

行政及び民間企業等と連携し、観光客の増加を図ることによって地域経済の活性化を目指し、仙台への来訪を促す各種事業を実施した。

### ① 観光行事等開催支援事業

仙台の観光振興の促進のため、地域観光行事等に対し協賛負担金を拠出し、観光促進を図った。

#### i. 観光行事等開催支援事業

仙台・青葉まつり、仙台七夕まつり、定禅寺ストリートジャズフェスティバル、SENDAI光のページェント等の実行委員会と連携しお祭り・イベントの開催支援を行った。

### ② 観光キャンペーン等推進事業

集客効果が高く、且つ仙台のイメージアップにつながる観光関連企画やプロスポーツについて、貴重な観光資源としてこれらの事業と連携し、仙台の魅力づくりと誘客促進のための条件整備を行うとともに、当該事業推進により観光客の増大を図った。

#### i. 東北絆まつりへの参画

「東北六魂祭」の後継イベントである「東北絆まつり仙台2017」において、仙台市、仙台商工会議所と共に事務局を担い、仙台市の観光PRブース及び6市飲食エリアの企画・運営を行った。

## ii. 仙台・宮城「伊達な旅」夏キャンペーン 2017 参画

仙台・宮城「伊達な旅」夏キャンペーン 2017（7月～9月）に併せた取り組みを行ったほか、仙台での滞在満足度を高めるため、関係機関と連携し各種事業を実施した。

## iii. 旅行商品造成助成事業

首都圏からの誘客促進を目的に旅行会社商品パンフレットへの仙台の観光情報等の掲載を条件に、パンフレット作成費用の一部助成（年2回）を行った。全国展開を図っている旅行会社6社の上期商品（4月～9月）、下期商品（10月～3月）の個人型企画商品を対象に実施した。

## iv. プロスポーツによる誘客

プロスポーツを活用した誘客、情報収集を目的に仙台プロスポーツネットと連携を図った。

## v. 観光誘致セールス事業

- ・平成29年4月6日（木）～4月7日（金）実施、商品企画造成部門7社及び旅行図書出版社2社訪問
- ・平成29年10月11日（水）～10月12日（木）実施、商品企画造成部門7社及び旅行図書出版社2社訪問

## vi. アニメコンテンツを活用した誘客事業

アニメ作品「Wake Up, Girls!～新章～」を活用した誘客プロモーション事業を実施した。

- ・平成29年8月5日（土）～9月30日（土）  
「Wake Up, Girls!～新章～」スタンプラリーの実施
- ・平成29年12月12日（火）～30年2月12日（月・祝）  
「Wake Up, Girls!～新章～」デザインマンホール設置に合わせた舞台地散策マップの作成及び配布を実施

## ③ 教育旅行受入促進事業

仙台市内の教育旅行に対応できる関連施設（宿泊施設、博物館、工場等）と連絡・調整を行い、関連情報を把握、整理するとともに、本市の教育旅行に関する問合せや相談に関して、市内各施設の情報提供やコーディネートを行った。また、行政や民間企業等と連携し、他県におけるセールス活動の展開及び現地説明会を実施するなど、旅行会社や学校に対して総合的な誘致活動を行った。

### i. 修学旅行誘致キャンペーン事業

ア 北海道からの中学校教育旅行誘致を目的に、現地プロモーションを仙台市、宮城県、宮城県観光誘致協議会と連携して実施

#### 【札幌会場】

- ・平成29年12月6日（水）実施、旅行会社6社及び中学校11校参加

#### 【函館会場】

- ・平成29年12月7日（木）実施、旅行会社5社参加、セールス4校訪問

イ 東北観光推進機構「東北教育旅行誘致部会」と連携し、教育旅行誘致事業に参画

#### 【東北教育旅行セミナー（函館会場）参加】

- ・平成29年7月11日（火）実施

- ウ 伊達な広域観光推進協議会と連携し、教育旅行説明会やセールス活動に参加
- 【首都圏旅行代理店説明会及び代理店訪問】
- ・平成30年2月7日（水）～8日（木）実施

#### ④ 観光客受入整備事業

仙台市内の周遊を促すためのパンフレット等の作成及び設置、受け入れ体制の整備・充実を図るための事業を行った。また、仙台の歴史や魅力を伝える「観光ボランティアガイド」を支援し、観光客の受入れ体制の強化を図った。さらに、観光客誘致支援団体等（東北観光推進機構、仙台まるごとパス運営協議会等）への会費負担を行うとともに、これらの組織と事業連携を図りながら観光客受入のための環境整備をすすめた。また、観光客受入において重要な宿泊施設との連携について、各宿泊関連施設と密接な情報交換ができるようネットワークの強化を行った。

##### i. クーポン付街歩きMAP事業

街歩き観光の推進と中心部の活性化を目的に市内中心部の飲食・お土産販売店舗等の協賛と宿泊施設の協力により、宿泊のお客様を対象にクーポン付MAPの配布を行った。

- ・協賛店舗36社41店舗、配布先宿泊施設59施設

##### ii. 仙台城跡 朝日・夜景観賞誘客創出事業

朝と夜の観光コンテンツの創出に向けた足がかりとして、宿泊者向けに仙台城から見る朝日観賞のモニターツアーの実施や宿泊施設での朝日・夜景の宣伝用POP等の制作を行った。

###### ア 仙台城跡日の出観賞モニターツアーの実施

民間の旅行会社と連携し、仙台城跡から日の出観賞を行うモニターツアーを実施した。併せて、実績を基に首都圏の大手旅行会社にセールスを行った。

- 第1回目 平成29年8月13日（日） 7名参加
- 第2回目 平成29年8月20日（日） 11名参加
- 第3回目 平成29年8月27日（日） 14名参加

###### イ 仙台城跡から朝日・夜景を見よう！！宣伝用POP制作

旅行者に対する案内用に宿泊施設のフロント等に掲示いただく宣伝POPとせんだい旅日和での情報発信ページの制作を行った。

##### iii. 手ぶらで観光便事業

観光客の快適な旅のサポートを目的に、ヤマト運輸と連携し、市内中心部・秋保温泉・作並温泉・松島エリアの宿泊施設を対象に即日手荷物をお届けする有料サービスの広報を実施した。

##### iv. おもてなし大作戦事業（※「すずのすけを探せ!!」情報発信事業）

仙台・青葉まつりの公式キャラクター青葉すずのすけが市内観光施設等を訪問し観光客との記念撮影等でふれあいながら、「仙台・青葉まつり」や「仙台・宮城伊達な旅」夏キャンペーン等の観光情報発信を実施した。

##### v. 観光ボランティア活動促進事業

- ア 観光ボランティアガイドの活動促進を目的とした助成事業の実施
- ・8団体の事業に助成

イ 「《伊達政宗公生誕 450 周年記念》観光ボランティアガイドと行く!!伊達な名所巡り」の実施

- ・ 10月21日～11月12日の土・日・祝（計9日間）実施，4，831人案内
- ・ 実施箇所：瑞鳳殿，仙台市博物館，仙台城址，大崎八幡宮，北山五山，陸奥国分寺薬師堂

#### vi. 街角案内所事業

観光客の利便性を向上させるため，街角案内所22施設に対する定期的な情報提供とパンフレット類の提供（通年）を行った。

#### vii. 他団体との連携による情報発信事業

ア スポーツコミッションせんだいへの参画による観光情報の発信及び受入整備

スポーツコミッションせんだいへ参画し観光情報の発信及び受入環境の向上に向けた条件整備を行った。

イ 大型クルーズ船内での情報発信

平成29年4月22日の横浜港から24日の長崎港まで，職員1名がクルーズ船セレブリティ・ミレニアム号に乗船し，船内において仙台・宮城のPR活動を行った。また，4月29日に仙台港に寄港した際には，全17団体で構成されたおもてなし会で歓迎の対応を行い，その中で当協会は，語学ボランティア10名を中心に観光や交通案内等を担当した。

#### viii. 事務局運営

仙台圏の二次交通商品である「仙台まるごとパス」と「るーぶる仙台」の宣伝・販売促進を目的に設立された「仙台まるごとパス運営協議会」並びに「仙台市観光シティーバス運行協議会」事務局の運営を行った。

ア 仙台まるごとパス運営協議会事務局運営

- ・ リーフレット，ポスター，特典ブック等の作成と活用
- ・ パス販売促進策の推進と広報宣伝の実施
- ・ 販売実績

期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日
枚数	20,274枚（前年度比124.0%）

イ 仙台市観光シティーバス運行協議会事務局運営

- ・ リーフレット等の作成と活用
- ・ 乗車実績向上にむけた広報宣伝の実施
- ・ 利用実績

期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日
乗車人員	540,052名（前年度比121.7%）

### （3）仙台西部地区観光振興事業

仙台の観光振興にとって重要な観光資源を有する仙台西部地区への観光客誘致拡大を図るため，各種事業を展開した。

#### i. 「仙台西部観光振興推進協議会」及び「仙台西部観光振興推進連絡会」の運営

仙台西部地区の一体的な観光振興を図る上でのニーズ等を集約する観光事業者組織「仙台西部観光振興推進協議会」と，同協議会の協議内容等についての情報共有等を図る仙台市及び当協会の担当組織「仙台西部観光振興推進連絡会」の事務局運営を行った。

## ii. 地域活性化支援事業

仙台西部地区で活動する団体が、観光振興の基盤強化や新たな観光資源の創出を目的に実施する事業に対して、経費の一部を助成し地域活動の促進と活性化を支援した。

項目	件数	金額
秋保地区	11件	5,453,000円
作並・定義地区	5件	3,006,000円
泉西部地区	3件	2,379,000円
秋保, 作並・定義, 泉西部地区にまたがるもの	2件	3,220,000円
秋保, 作並・定義地区にまたがるもの	1件	661,000円
合計	22件	14,719,000円

## iii. 仙台西部地区観光振興ご用聞き事業

協会事務局職員が仙台西部地区内の観光事業者等と積極的に情報交換を図り、観光振興策の創出等に繋げた。

## iv. 西部地区広域マップ作成事業

仙台西部地区を網羅したクーポン付マップを作成配布し、観光客入込数増加を図った。

- ・印刷部数 11,000部

## v. 外国人客対応力向上事業

外国人観光客が仙台西部地区の宿泊施設等で快適に過ごせるよう、せんだい留学生交流委員等の協力のもと、留学生等が外国人旅行者として温泉旅館を訪ね、旅館スタッフに外国語で様々な質問をすることで、旅館スタッフの外国人客対応力向上を図った。

- ・実施件数 45回
- ・実施旅館 9旅館（秋保7, 作並1, 泉1）
- ・派遣人数 延べ84名

## vi. 仙台西部地区体験型観光資源開発事業

仙台西部地区の自然環境等の地域資源を活用した体験可能な観光メニューの紹介サイト「仙台里山ライド」の更新、サイクルツーリズムの環境整備等を行った。

## vii. 仙台西部地区観光展

仙台西部地区の観光事業者で組織する「仙台西部観光振興推進協議会」と連携し、同地区の魅力ある観光資源の情報発信と認知度アップ及びファン・サポーターの増大を図るため、JR仙台駅において観光展を開催した。

- ・開催日 平成29年10月28日（土）、29日（日）
- ・来場者数 約11,000名（2日間）

## ① 秋保地区の観光振興に関する事業

仙台市秋保地区の観光振興を目的に、地域で行われる事業の調整・PRを実施するとともに、当該地域での魅力向上につながる企画を実施した。また、観光に関わる設備（街路灯・観光看板等）の管理を行い、観光客を適切に迎え入れる環境整備を実施した。これらの事業推進のため、地域と密接な情報交換を行う会議を定期的実施した。

### i. 地域活性化支援事業（再掲）

### ii. 秋保地区観光施設等管理事業

秋保温泉の案内誘導柱、街路灯施設及び観光こけし塔の修繕、維持管理等を行った。

### iii. 磊々峡環境整備事業

秋保温泉街の活性化のため、磊々峡の入口に当たる「視橋」周辺の除草木、枯損木の処理や清掃を実施した。

- ・平成30年2月5日（月）～3月20日（火）

### iv. 秋保温泉郷旅あるきマップ等作成事業

秋保温泉郷内を散策で楽しめるマップの情報を更新・作成し、秋保温泉の魅力情報を提供した。

### v. 観光行事開催支援事業

下記観光行事の開催支援を行った。

- ・大東岳山開き 平成29年 5月28日（日）
- ・まつりだ秋保 平成29年10月29日（日）

## ② 作並・定義地区の観光振興に関する事業

仙台市作並・定義地区の観光振興を目的に、地域で行われる事業の調整・PRを実施するとともに、当該地域での魅力向上につながる企画を実施した。また観光に関わる設備（街路灯・観光看板等）の管理を行い、観光客を適切に迎え入れる環境整備を実施した。これらの事業推進のため、地域と密接な情報交換を行う会議を定期的に実施した。

### i. 地域活性化支援事業（再掲）

### ii. 作並・定義地区観光施設等管理事業

作並・定義の街路灯施設を管理する団体へ負担金を支出した。観光看板・歓迎こけし塔、歓迎塔等の維持管理を行った。また作並温泉歓迎こけし塔周辺の除草や大倉ダム周辺の桜の剪定をし、環境整備を行った。

### iii. 観光行事開催支援事業

下記観光行事の開催支援を行った。

- ・定義如来夏祭り 平成29年8月5日（土）
- ・ほっこり！さくなみ事業 平成30年2月10日（土）、11日（日）

### iv. 作並温泉郷・定義旅あるきマップ等作成事業

作並温泉郷・定義地区を散策で楽しめるマップの情報を更新・作成し、同地区の魅力情報を提供した。

## ③ 泉西部地区の観光振興に関する事業

仙台市泉西部地区の観光振興を目的に、地域で行われる事業の調整・PRを実施するとともに、当該地域での魅力向上につながる企画を実施した。これらの事業推進のため、地域と密接な情報交換を行う会議を定期的に実施した。

### i. 地域活性化支援事業（再掲）

### ii. 泉西部旅あるきマップ等作成事業

泉西部地区を散策で楽しめるマップの情報を更新・作成し、同地区の魅力情報を提供した。

#### (4) せんだい・宮城フィルムコミッション運営事業

映像作品を通じた地域振興・観光振興を目的に、映像製作者を対象に、ロケーション撮影に必要な支援の無償提供や、ロケ地に関する情報提供、撮影許認可の簡便化、市民エキストラの手配等を実施した。また支援した映像作品が公開・放映される際の宣伝活動を実施した。

##### ① せんだい・宮城フィルムコミッション運営事業

###### i. ロケーション撮影誘致と支援業務

国内の映像作品の他、海外作品の支援の問い合わせも受け、関係各所と連携の上、対応を行った。また、加盟団体であるジャパンフィルムコミッション(以下JFC)の平成29年度総会において、平成30年10月に仙台にてJFC総会開催が決定した。

平成29年度の主な支援作品

- ・映画「祈りの幕が降りる時」(2018年1月公開)
- ・映画「ママレード・ボーイ」(2018年4月公開)
- ・中国ドラマ「十年三月三十日」(2018年秋中国にて放映)、他

###### ii. 地元ロケ作品の積極的なPR活動の展開

- ・映画「ReLIFE」のロケ地マップ等の作成
- ・映画「祈りの幕が降りる時」を活用したプロモーションの実施
- ・映画「生きる街」の公開劇場におけるパネル展の実施

###### iii. 地域啓発事業

- ・誌面媒体等を通じたフィルムコミッション活動の告知
- ・仙台短編映画祭2017への参画、等

###### iv. 支援実績

- ・映画、TV番組、CM、書籍等 支援件数186件(うち撮影実績62件)前年比112%

#### (5) 仙台・青葉まつり支援事業

仙台を代表する祭りの一つである仙台・青葉まつりについて、期間中の観光客拡大を目的に、仙台・青葉まつり協賛会事務局に関する業務のほか、伊達政宗公山鉾の巡行に関わる業務を実施した。また、青葉まつり開催に伴い、伊達政宗公の霊廟「瑞鳳殿」において、仙台の名品・工芸品を奉納し、且つ一定期間「瑞鳳殿資料館」において展示を実施した。

##### ① 仙台・青葉まつり支援事業

###### i. 第33回仙台・青葉まつりの開催

- ・開催日 平成29年5月20日(土)・21日(日)

「伊達政宗公生誕450年祭」と銘打って実施し、2日間で約97.1万人の人出があった。宵まつりの仙台宵山鉾及び本まつりの時代絵巻巡行において、政宗公山鉾の運行を行った。



## ii. 役員会の実施

- ・開催日 平成30年1月31日（水）
- ・内容 平成30年度第34回仙台青葉まつりの概要について協議・確認
  - \*開催日 平成30年5月19日（土）・20日（日）
  - \*実施方針 「舞」をテーマに伊達な時代まつりとしての「粋な振る舞い」に感動し、参加者も来場者も「共に舞い踊り」、「地域活力を鼓舞する」祭りを目指す。

## 2. 物産振興に関する事業

仙台地域の伝統・文化の継承と発展に寄与することを目的に、仙台の物産品・名産品等のPR及び仙台の伝統工芸の後継者育成をはじめ、物産品・名産品等の販路拡大のための支援等を行った。仙台ならではの物産品、優れた技術をもって製作された伝統的工芸品等に関して、パンフレット等の作成及びWEB上でPRを行った。また、仙台の工芸品等について、展示会等の手段を通じ広く一般に公開される機会を提供し、仙台地域の伝統文化の理解促進を促した。

### (1) 物産振興に関する事業

#### ① 物産振興に関する事業

##### i. 伝統的工芸の後継者人材育成

伝統工芸工人後継者で結成している「匠の会」の工人が出店した「JR上野駅宮城産直市」への経費助成を行った。

- ・平成30年1月25日（木）～27日（土）JR上野駅中央改札外グランドコンコースにて開催

##### ii. 物産関係団体との連携強化

関係団体と連携を図り、賛助会員に対して情報発信及び周知を図った。

- ・連携先：5団体（仙台商工会議所、観光土産品公正取引協議会、宮城県物産振興協会、仙台箆笥協同組合、公益財団法人仙台市産業振興事業団）
- ・情報発信：6件

##### iii. 地元銘品・銘菓や伝統工芸品等の奉納と展示（奉納の会）

地場産業発展の礎を築いた政宗公に感謝の意を表し、今後、益々地場産業が繁栄することを祈念して瑞鳳殿にて開催した。48社が奉納。伊達政宗公生誕450年を記念し、生誕450年記念の工芸品の奉納・展示を行った。

##### iv. 震災復興支援物産展の開催・協力

東日本大震災以降、復興支援をいただいている全国の自治体や関係団体からの物産展への出展依頼に関し、賛助会員に周知並びに出展調整を行った。

- ア 東北絆まつり2017仙台  
平成29年6月10日（土）～11日（日）仙台市にて開催
- イ 震災復興支援に係る物産展開催要請に対する対応  
対応件数 3件

#### v. 伊達政宗公生誕 450 年記念仙台駅銘品・工芸品フェア

伊達政宗公生誕 450 年関連事業「大政宗展～2017 仙台・宮城の味と技フェア～」を開催し、仙台・宮城のお土産・食品・民芸品の販売の他、伊達政宗公に因んだ商品の販売も行った。また、伊達政宗に関するパネルの展示や、政宗公ゆかりの地を巡るスタンプラリーを実施し、政宗公生誕 450 年の告知・宣伝も行った。

・開催日：平成 29 年 5 月 15 日（月）～ 21 日（日）

・開催場所：JR 仙台駅 2 F コンコース

エスパル仙台本館 B 1 F インフォメーション前特設会場

#### vi. 物産パンフレット作成と活用

物産関連賛助会員の商品について、県内外に発信することを目的に、観光プロモーションと連動した活用を行った。

ア 物産パンフレット「仙台の銘品ガイド」の増刷

増刷部数：72,000 部

イ マスコミ対応

和風総本家（テレビ大阪）工芸品の推薦の協力（10 月）

玉虫塗（東北工芸製作所）を紹介

#### vii. 工芸品育成振興事業「仙台市工芸展」

仙台の伝統的工芸品の展示や制作体験等、工芸品に触れる機会の創出を目的に工芸品の展示販売会を開催した。

2018 仙台市工芸展

・開催日：平成 30 年 3 月 23 日（金）～ 25 日（日）

・開催場所：エスパル仙台本館

#### viii. 物産プロモーション事業

物産プロモーション事業として姉妹都市や各種イベントにおいて物産品を PR した。

ア 姉妹都市等への物産品 PR

実施件数 2 件

イ 展示会・物産展等出展

#### ix. 物産展等出展助成事業

仙台の伝統的工芸品に係る事業等へ助成を行った。

実施件数 1 件

### 3. コンベンション推進に関する事業

当協会が蓄積してきたネットワークや知識・情報を有効に活用し、コンベンションの情報収集・誘致・支援といった一連の事業に取り組み、仙台市及びその周辺地域の発展と活性化を図った。

## (1) コンベンション誘致・支援事業

### ① コンベンション助成事業

仙台市内で開催される国際・国内会議の誘致を促すと共に、コンベンションの円滑な運営と成功に寄与することを目的に、コンベンション主催者を対象に、開催助成、シャトルバス運営助成、開催準備資金貸付等を行った。

項目	件数	金額
開催助成(国際会議, 全国会議)	29件	23,553,000円
市民公開講座開催助成	4件	1,200,000円
シャトルバス運行助成	0件	0円
開催準備資金貸付	0件	0円

また、小規模国際学術会議助成は、一般財団法人みやぎ産業交流センターに対して8件の助成金交付の推薦を行った。

### ② コンベンション誘致事業

学会や大会の事務局やキーパーソンなどに対して仙台でコンベンションを開催するメリットなどを宣伝するセールス活動及び招請活動を行うことや、IME（国際MICEエキスポ）に出展し、仙台の魅力やPRすることでコンベンションの誘致拡大を図った。また、仙台市内の大学等を訪問し情報収集を行うほか、招請活動においては主催者の仙台への来訪費用一部を助成するなどの事業を展開し、コンベンション関連団体と連携して誘致活動を積極的に実施した。

#### i. 国際会議に重点を置いたコンベンション誘致セールス

仙台開催の可能性を有する国際会議関係者への誘致活動及び情報収集を行った。

- ・東北大学 11回（272名）
- ・首都圏 6回
- ・海外 2回

#### ii. ICCA（国際会議協会）事業活用による国際会議誘致情報の収集

ICCAのデータベースを利用した情報収集を実施した。また、Association Meeting in Fukuokaに出席し海外主催者や関係者とのネットワークを強化した。

#### iii. IBTM（国際MICE見本市）出展によるMICE情報収集

11月にバルセロナで開催された国際MICE見本市（IBTM）に出展し、仙台の会議開催環境の広報及び誘致活動を行った。

#### iv. IME（国際MICE・エキスポ）による商談と会議情報収集

国内最大のMICE商談会（IME）に出展し、仙台のPR及び誘致活動を行った。

- ・開催日 平成30年2月28日（水）
- ・場所 東京・京王プラザホテル
- ・主催 観光庁、JNTO（日本政府観光局）、JCCB（日本コンベンション・コンGRESS・ビューロー）

今年度より開催形式が展示会形式から商談会形式に変更となり、開催期間も2日から半日に縮小したが、新規案件につながるバイヤーの来訪が増加した。

- ・仙台ブース来訪団体数 14団体
- ・商談件数 12件

#### **v. Meet Japan等コンベンション主催者招請事業の実施**

海外の国際会議キーパーソンを仙台に招聘し、仙台の紹介及び会議開催環境のPRを実施した。

- ・JNTO主催国際会議海外キーパーソン招請事業への参加

2月に仙台へ2団体を招請し、その後東京にて7団体と商談会を実施した。

#### **vi. 東北地区コンベンション合同誘致懇談会による会議情報収集と商談**

東北地区コンベンション推進協議会主催の合同誘致懇談会に出展した。

- ・開催日 平成29年12月11日（月）
- ・場所 東京・都市センターホテル
- ・全体来場団体数 32団体
- ・仙台ブース来訪団体数 11団体
- ・商談件数 8件

#### **vii. 東北各県での学会誘致セールスの実施**

東北他県の大学を訪問し、仙台での会議開催の営業を行った。

- ・実施回数 2回（7月、3月）

#### **viii. 東北大学キーパーソンへの誘致セールス**

国際会議開催の可能性のある東北大学の教授などを訪問し、当協会の支援内容の説明を行った。

- ・実施回数 140回

#### **ix. メールマガジン（仙台コンベンションニュース）の発信**

仙台のコンベンション関係情報として、当協会の事業の報告及び仙台市、仙台国際センターの情報も併載したメールマガジンの発信を行った。

- ・日本語 7回
- ・英語 1回

#### **x. 仙台開催に相応な国際会議情報の収集及び誘致活動**

ICCAデータベース等を活用した情報収集及びIBTM、IME等展示会での情報収集誘致活動を行った。

#### **xi. 海外PCOとの連携関係構築の実施**

日本で開催されたIAPCO（国際PCO協会）総会で仙台市と連携した誘致活動を実施した。

### **③ コンベンション支援事業**

仙台で開催されるコンベンションに対し、その開催に必要な助言・サポート及び仙台紹介のためのツールの提供など、事前準備段階から開催まで様々な支援・サービスを実施し、コンベンションの円滑な運営と成功に寄与し開催件数増加につなげた。また、コンベンションボランティアについては育成・派遣を行うなど、仙台でのおもてなしの向上を図った。

#### **i. 国際会議学生ボランティア育成に向けた研修会の実施**

学生ボランティアのレベルアップを目的とし、語学やマナーなどの研修を行った。

- ・語学研修会「英語でディスカッション」 計4回実施
- ・スペシャルサポーター研修会 計4回実施

## ii. 国際会議ボランティア派遣事業

国際会議のホスピタリティデスクや案内対応として学生ボランティアを会場に派遣した。

- ・派遣件数 7件

## iii. コンベンションウエルカムボードの掲出

国際会議、全国会議を対象にJR仙台駅2階のウエルカムボードに歓迎表示を行った。

- ・掲出件数 上期：65件，下期：57件，年間：122件

## iv. コンベンション誘致・支援ツール作成

パンフレット等，コンベンション誘致や支援のツールを作成した。

- ・コンベンションバッグ
- ・文化観光施設割引券
- ・大会会場パネル
- ・誘致PRティッシュ
- ・おもてなしガイド
- ・各種支援のご案内

## v. 会議支援メニュー（アトラクション，エクスカージョン，体験プラン）の提供

国際会議及び全国規模の国内会議において，アトラクション等，おもてなしメニューの提供を行った。

- ・提供件数 国際会議：2件  
国内会議：5件

## vi. MICEサポートセンター事業

コンベンション等 MICE 受入の環境改善を目的とした各種情報の収集，セミナーの開催を行った。また，アプリ等開催支援ツールや支援情報の提供を行った。

### ア 主催者支援

- ・ユニークベニュー・アトラクション等の映像 DVD の提供
- ・コンベンション参加者向けアプリ及びウェブサイトの運営
- ・国際会議情報の海外発信

### イ 受入環境レベルアップセミナー開催

- ・ステークホルダー，賛助会員に向けたセミナー開催（3回）

	開催日	参加者数	内容
第1回	平成29年7月26日（水）	39名	講演「地方都市こそ国際会議を狙え！松江・島根からの挑戦25年」
第2回	平成30年1月31日（水）	75名	講演「国際会議誘致と開催の成功事例 —仙台に欠けているものは何か—」
第3回	平成30年3月7日（水） ～8日（木）	16名	グループワーク「スタディーツアーの企画」

### ウ 会議開催支援についての情報提供

仙台国際センター，仙台市と共催で平成30年1月31日（水）に「仙台コミュニケーションフェア in 仙台国際センター」を開催し，会議関係者に対し当協会の支援内容の情報提供説明を行った。

## vii. 関連する翻訳業務の強化

展示会出展時のパンフレット，海外専門誌への広告掲載等において，正確かつ効果的なネイティブ翻訳による広報を実施した。

## 4. 多文化共生・国際交流に関する事業

言葉や習慣などの異なる外国人市民が、自らの個性を活かしながら、地域の一員として活躍できる多文化共生社会の形成を目指し、各種事業を実施した。また、国際交流や国際理解などに関する各種事業を実施し、活力ある地域づくりを行った。

### (1) 外国人市民支援

#### ① 日本語学習支援

生活に必要な日本語の習得を目的として、市民団体や関係機関との協働により、外国人市民のための日本語講座等を開催した。また、マンツーマンで日本語学習を支援する日本語ボランティアの研修及び活動支援を行った。

##### i. 日本語講座の開催

生活に必要な日本語の学習を支援するため、市民センターや市民団体との協働により日本語講座を開講した。

ア せんだい日本語講座

前期：4月～9月／後期：10月～3月開講，前期132名／後期114名受講

イ 日本語ティールーム（託児付き）

4月～3月開講，62名受講

ウ さっと日本語クラブ（小中学生対象）

5月～2月開講，35名受講

エ その他の日本語学習支援団体に対する広報及び活動費の支援

- ・外国人の子ども・サポートの会
- ・にほんごのもり
- ・泉日本語サロン
- ・茂庭台日本語サロン
- ・日本語ボランティアサークル HANDS

##### ii. 日本語ボランティアの活動支援

日本語ボランティア入門講座を実施し、修了生等を登録するとともに、日本語学習を希望する外国人市民に随時、紹介を行った。

ア 日本語ボランティア入門講座（全8回）

10月～11月開講，30名受講

イ 日本語ボランティアの登録と学習者への紹介

登録者ボランティア数114名，学習者数63名（うち新規38名）

ウ 市民団体が行う研修会への協力

#### ② 生活支援事業

外国人市民が、交通安全や防災、文化・習慣など日本での生活に必要なことについて学び、地域で安心・安全に暮らすためのオリエンテーション等を実施した。さらに、生活に必要な情報の翻訳と広報を行った。言語や習慣等の違いから学校生活や進学に困難を抱える外国につながる子どもとその家族を支援するため、ガイダンスや学習教室の開催、情報提供等を行った。

## **i. 生活オリエンテーションの開催**

外国人市民が自国と日本のルールやマナー等の違いを知り、安心・快適に暮らせるためのオリエンテーションを日本語講座の一環として開催した他、依頼に応じて大学や日本語学校等への出前講座も実施した。

- ア せんだい日本語講座「にほんごカフェ」  
4月～2月（全4回）実施，延べ59名参加  
ハザードマップ，在留資格，救命救急，各種お知らせについて
- イ 出前講座  
通年20回実施，延べ1,516名参加  
日本の習慣・マナー，交通安全，ゴミ分別，防災，救命救急について

## **ii. 生活情報の多言語化**

外国人市民の生活に必要な情報を，行政や市民団体の協力を得ながら多言語に翻訳，広報した。

- ア 「資源とごみの分け方・出し方」翻訳（ベトナム語）
- イ 「資源とごみの分け方・出し方（簡易版）」翻訳チェック（ベトナム語，ネパール語）
- ウ 「保育利用施設案内」翻訳（英語，中国語，韓国語）
- エ 「保育所での会話集」翻訳（ベトナム語，ネパール語）
- オ 「役所から届く支払いのお知らせ」作成・翻訳  
（英語，中国語，韓国語，ベトナム語，ネパール語）

## **iii. FMラジオ多言語放送**

季節の話題や生活情報，イベント情報などをFMラジオ3局の協力を得て多言語で放送した。  
5週目がある月には日本語で協会事業の報告を行った。

- ・放送日 言語ごと月1回15分間放送
- ・内容 生活情報，イベント情報等
- ・言語 英語，中国語，韓国語，やさしい日本語
- ・協力 エフエムたいはく，fmいずみ，ラジオ3

## **iv. 外国につながる子ども支援**

言葉，文化，習慣等の違いにより困難を抱えている子どもを支援するために，市民団体等と連携して「進路ガイダンス」や「夏休み教室」，「小学校入学準備講座」の実施と「まちなか多文化かわらばん」の発行を行った。

- ア 日本語を母語としない子どもと親のための進路ガイダンス2017宮城  
平成29年7月22日（土）実施，子どもと親20組42名参加  
高校進学に関する説明，教員からのアドバイス，進路相談等
- イ 日本語を母語としない子どものための夏休み教室  
平成29年8月1日（火）～4日（金）実施  
外国につながる子ども 延べ48名，支援協力者 延べ71名参加  
教科学習及び日本語学習
- ウ 外国人児童と家族のための小学校入学準備講座  
平成30年2月26日（月）実施，外国人保護者5名，関係者3名参加  
小学校入学に関する説明，教員からのアドバイス，相談等

エ 「まちなか多文化かわらばん」 6号の発行

3, 000部（日本語）

仙台市内の小中学校における地域住民や学校主体による外国人児童受け入れの先進事例を取り上げ、広く周知した。

#### v. 外国につながる子どもサポートせんだい

外国につながる子どもが市内の小中学校に転入学する際、通訳や情報提供、学習支援のできるコーディネーターを派遣するとともに、学習支援教材の整備・貸出を行った。

ア 相談事案数 48件

（小学校34件，中学校11件，高校進学2件，他1件）

イ コーディネーター派遣数 32件

（小学校19件，中学校7件，教育委員会等6件）

ウ 公開研修会の開催

平成30年2月6日（火）実施，75名参加

「外国につながる子どもの状況と必要なサポートを考える」

齋藤ひろみ氏（東京学芸大学教育学部日本語教育分野教授）

田中宝紀氏（NPO 法人青少年自立援助センター定住外国人子弟支援事業部

統括コーディネーター）

エ 教材・参考資料の整備と貸出

学校現場等で有効な日本語学習の教材を整備し、貸出を行った。（21教材 各10部）

#### vi. 防災啓発

外国人市民の防災意識を高めるとともに、災害時の外国人市民支援を円滑に行うため、多言語による防災情報の発信を行った。また、防災・災害時支援における関係者との協働を推進した。

ア 消防隊員，救急隊員対象外国人対応訓練

平成29年4月28日（金）実施

仙台市青葉消防署 国見出張所配属 消防隊員・救急隊員15名参加

イ 外国人市民のための防災教室

平成29年6月3日（土）実施

東北大学，東北福祉大学の学生等，約120名（日本人学生含む）

ウ 町内会等と連携した防災講座，防災訓練

・北山市民センター「留学生応援講座」

平成29年10月7日（土）実施，外国人市民参加者数69名

・片平地区総合防災訓練

平成29年10月21日（土）実施，外国人市民参加者数13名

・国見地区東部ブロック6町内会

平成29年10月28日（土）実施，外国人市民参加者数31名

エ Datefm 防災番組「Sunday Morning Wave」への協力

・放送日 毎月第2日曜日

・番組名 防災情報番組 Sunday Morning Wave 内「Global Talk」コーナー

・内容 日本語によるトーク及び母語による防災ワンポイントアドバイス



## vii. 留学生就職活動支援

留学生が仙台・宮城で就職し、地域の人材として活躍できるよう、関係機関との情報共有を図った。

## viii. 留学生リサイクル自転車斡旋

留学生の生活支援を図るため、SENDAI 留学生自転車リサイクル事業推進協議会と協力して、リサイクル自転車の斡旋を行った。併せて、平成27年度作成の「多言語交通安全DVD」の視聴による交通安全教室を開催した。

- ・開催日 平成29年4月23日（日）
- ・会場 仙台国際センター
- ・販売台数 29台（購入希望者36名）

## IX. 日本文化体験

外国人市民の日本理解の一助となるよう、日本の伝統文化を体験・学習する機会として「七夕交流会」を実施した。また、姉妹都市等から来仙する市民団に日本文化を体験する機会を提供した。

### ア 七夕交流会

- ・開催日 平成29年6月25日（日）
- ・場所 仙台国際センター
- ・内容 抹茶席，煎茶席，生け花，書道，折り紙，着付け等の日本文化体験，日本語学習体験，昔遊び等
- ・参加者数 180名

### イ レンヌ市サンマルタン高校生着付け体験

- ・開催日 平成29年10月25日（水）
- ・内容 着付け
- ・参加者数 10名

### ウ アカプルコ市民団（日本のともだち協会）日本文化体験

- ・開催日 第1回：平成30年3月14日（水）  
第2回：平成30年3月28日（水）
- ・内容 第1回：生け花，着付け 第2回：書道，折り紙
- ・参加者数 第1回：7名 第2回：10名

## （2）災害時の外国人支援

### ① 災害多言語支援センター運営

大規模災害発生時、外国人市民や旅行者など、言葉や習慣等の違いから情報が入手しにくく支援が受けられない恐れがある外国人を支援するために仙台市が設置する「災害多言語支援センター」を運営するための訓練を行うとともに、外国語での情報提供や相談対応を行った。

#### i. 多言語支援センター設置運営訓練

- ・開催日 平成30年2月5日（月）
- ・場所 仙台観光国際協会 会議室
- ・参加者数 24名（協会及び仙台市職員）
- ・内容 支援センターの活動，仙台市の防災，多文化防災ワークショップ

## ii. 注意報・警報発令における多言語情報の発信

- ・件数 5件
- ・内容 台風(8/7, 9/16, 10/22), 大雪(1/22), 弾道ミサイル(9/15)

## iii. 多言語支援センター広報用リーフレット増刷

- ・印刷部数 1,000部
- ・配布 区役所, 市民センター等の施設

## iv. 仙台駅周辺帰宅困難者対応訓練への参加

- ・日時 平成29年9月1日(金)
- ・場所 JR仙台駅
- ・内容 CIRや留学生交流委員が外国人観光客役として訓練に参加

## v. 世界防災フォーラム：パネルディスカッション「多文化社会と防災」の開催

- ・日時 平成29年11月26日(日)
- ・場所 仙台国際センター会議棟
- ・参加者 110名
- ・内容 阪神淡路大震災, 関東豪雨, 熊本地震, 東日本大震災における外国人支援

## ② 災害時言語ボランティア育成

大規模災害発生時に外国人被災者の支援を行う市民ボランティアを「災害時言語ボランティア」として募集し, 研修を行った。

### i. 登録

登録者数65名, 対応言語17言語

### ii. 研修会, 訓練

ア 災害時言語ボランティア研修会

- ・開催日 平成30年2月24日(土)
- ・場所 震災遺構 荒浜小学校, せんだい3.11メモリアル交流館
- ・参加者数 17名
- ・内容 震災関連施設の視察, 東日本大震災時の活動の振り返りと情報交換

イ その他の研修や訓練への参加

- ・日本語講座での防災講座での通訳  
平成29年4月19日(水)実施, 1名参加
- ・外国人市民のための防災教室での通訳・訓練補助  
平成29年6月3日(土)実施, 6名参加
- ・市民センターと連携した防災教室での通訳  
平成29年10月7日(土)実施, 4名参加
- ・町内会と連携した防災訓練での通訳・訓練補助  
平成29年10月21日(土)及び10月28日(土)実施, 10名参加
- ・世界防災フォーラムでのテクニカルセッション運営補助  
平成29年11月26日(日)実施, 2名参加

### (3) 地域づくり支援

#### ① 地域づくり支援事業

学校や市民センターなどが実施する国際理解講座に対し、外国人市民等の講師紹介や内容に関してのアドバイスをを行った。市民が自主的に行う国際交流、国際協力、多文化共生に関する活動に対して補助金の交付を行った。多文化共生社会の形成を目指して、外国人市民の状況や多文化共生について考える講座やイベントを開催した。

##### i. 国際理解推進

学校や市民センター等が実施する国際理解推進事業に対して、人材紹介や情報提供、参加型学習実施の支援を行った。

人材の登録と派遣

- ・登録者数 44名（26の国と地域）
- ・派遣件数 53件（小学校36件，中学校1件，高校2件，児童館5件，保育所2件）
- ・派遣講師数 127名
- ・参加者数 3,655名

##### ii. 市民活動助成

市民の自主的な国際交流活動の促進を図るため、事業経費の一部を補助した。

- ・補助金交付 9件 556,000円

##### iii. 国際フェスティバルの開催

市民による実行委員会を組織して国際交流、国際協力、多文化共生等の活動を行う市民団体等が参加するイベント（せんだい地球フェスタ）を開催した。

- ・テーマ 「ここから生まれる素敵な出会い Let's enjoy the moment together」
- ・開催日 平成29年9月18日（月祝）
- ・場所 仙台国際センター展示棟
- ・内容 団体活動紹介，ステージ発表，世界の文化体験，開発教育ワークショップ体験，等ドキュメンタリー映画上映等
- ・来場者数 約7,300名
- ・参加団体 66団体
- ・ボランティア 103名

##### iv. 多文化共生講座の開催

ア 外国人市民対応研修

区役所の窓口担当職員を対象とした研修会を実施した。

平成29年11月22日（水）（全区役所） 50名参加

イ 統計調査員対象研修「外国人住民にも伝わる『やさしい日本語』」

平成29年4月21日（金）（太白区役所）50名参加

### (4) 人材育成事業

#### ① 人材育成事業

国際交流や外国人支援に意欲のある外国人留学生をせんだい留学生交流委員として委嘱し、各種事業への協力を得るとともに、地域における交流活動を積極的に行った。また、次世代を担う青少年を対象に地球規模の課題や地域の課題について考える講座を開催した。

### **i. せんだい留学生交流委員**

仙台市在住の留学生に「せんだい留学生交流委員」を委嘱し、地域の国際交流及び外国人市民支援の活動を行った。交流委員には月額2万円の奨励金を支給し、活動の経済的支援とした。

- ・人数 前期20名、後期20名
- ・活動内容 各種講座・ラジオ出演等、協会事業への協力、仙台市事業への協力

### **ii. 地球市民育成**

一般市民を対象として、持続可能な社会を目指して世界や地域の諸問題について考え、行動するきっかけをつくるための講座を行った。

- ・開催日 平成29年6月3日(土)、6月16日(金)、7月1日(土)
- ・場所 国際センター駅2階「青葉の風テラス」
- ・参加者数 各回15名程度
- ・内容 ワークショップ(開発教育、やさしい日本語を考える)、ネパール・ベトナムについて知るトークと交流

## **(5) 国際交流事業**

### **① 派遣・受入事業**

国際姉妹友好都市等から訪れる市民団や青少年団の受入等の事業により、市民の国際交流活動を促進した。

#### **i. 市民団交流**

ア 第27回仙台国際ハーフマラソン大会 国際姉妹都市等交流会

- ・開催日 平成29年5月14日(日)
- ・場所 江陽グランドホテル 鳳凰の間
- ・参加者数 248名(選手団含む)

イ 国際姉妹都市提携60周年記念 リバサイド市民訪問団来仙

- ・受入期間 平成29年5月10日(水)～22日(月)
- ・受入人数 7名
- ・内容 市役所表敬、市内見学、日本文化体験など

ウ 国際友好都市提携20周年記念 ダラス市民訪問団来仙

- ・受入期間 平成29年7月3日(月)～8日(土)
- ・受入人数 14名
- ・内容 市役所表敬、市民交流会開催、市内見学など

エ リトル台湾 in 仙台 2017 への協力

- ・開催日 平成29年9月30日(土)～10月1日(日)
- ・場所 勾当台公園市民広場
- ・参加者数 約50,000名
- ・内容 負担金の交付、台南市PRブースの運営等

オ アカブルコ市民団（日本のともだち協会）来仙（再掲）

- ・受入期間 第1回：平成30年3月14日（水）～15日（木）  
第2回：平成30年3月28日（水）～29日（木）
- ・受入人数 第1回：7名，第2回：10名
- ・内 容 市役所表敬，市内見学，日本文化体験など

カ ホストファミリーボランティア

- ・登録者数 53家庭
- ・内 容 ダラス青少年受入を行った他，他団体が主催するホームステイ登録説明会の情報提供を行った。

## ii. ダラス市青少年訪問団派遣

アメリカ合衆国ダラス市に高校生6名を派遣し，ホームステイや青少年交流を通して震災支援の感謝と仙台の現状を伝えた。TOMODACHIイニシアチブ助成事業。

- ・派遣期間 平成29年8月8日（火）～8月16日（水）8泊9日
- ・派遣人数 8名（高校生6名，同行者2名）
- ・派遣内容 市役所表敬，高校訪問，子ども病院，日系企業訪問，  
大学キャンパス見学，市民との交流会，ホームステイ体験など

## 5. 調査・研究・広報・情報発信に関する事業

仙台の観光及びコンベンション並びに多文化共生に関する調査・研究広報・情報発信を行うことにより，各事業推進に役立てるとともに，地域における各活動に寄与することで，活力ある都市づくりに資することを目的に記載する事業を行った。

### (1) 調査・研究・広報事業

#### ① 観光・コンベンション等に関する調査研究広報事業

コンベンション開催団体へのアンケート調査を実施し，その内容について分析・集約した情報を行政及び仙台市内の関連団体で共有し，コンベンション等受入のための意識向上を図った。また各種大会のデータを集約，分析し，コンベンション誘致活動に活かした。

#### i. コンベンション関係者との情報交換会の開催

会議施設やホテル等のコンベンション施設関係者及びコンベンション開催業務サポーターとコンベンション受入関係に関する意見交換を行った。

ア コンベンション施設関係者会議

第1回

- ・開催日 平成29年6月28日（水）
- ・参加者数 16施設22名及び仙台市

第2回

- ・開催日 平成30年3月15日（木）
- ・参加者数 9施設13名

イ コンベンション開催業務サポーター情報交換会開催

- ・開催日 平成29年6月19日(月)
- ・参加者数 7団体11名及び仙台市

## ii. コンベンションカレンダー作成と情報発信

仙台のコンベンション等開催情報の提供を目的としたカレンダーを作成し、関係者へ提供した。  
年2回作成・配布(実施時期:9月,3月)

## iii. JCCB・JNTOの会議・研修参加

国際会議等コンベンション情報の収集を目的とし、JCCB及びJNTO事業への参加・協力を行った。

ア JNTOへの国際会議開催情報の収集と実績情報の提供

イ JCCB事業(総会,ビューロー部会)への参加

## iv. 東北地区コンベンション推進協議会の事務局として総会・研修会を運営

東北全体でのコンベンション活性化を目的とし、東北地区コンベンション推進協議会の運営、事業に参加した。

- ・総会 開催日:平成29年9月7日(木) 開催地:青森県 青森市
- ・研修会 開催日:平成29年10月12日(木) 開催地:山形県 米沢市

## v. コンベンションアンケート調査の実施

仙台の会議環境の客観的評価調査のため会議参加者へアンケートを実施した。

ア アンケート調査 実施会議数:31件(国際会議12件,国内会議19件)

イ 報告書配布 賛助会員にコンベンションカレンダーと合わせて3月配布

## vi. データベースシステムによるコンベンション情報の管理

コンベンション開催状況及び営業用情報の把握のため、データシステムの運用を行った。

## vii. データ集約並びに統計の作成及び誘致戦略への反映

コンベンション開催データの調査集計、開催動向の把握を行った。

## viii. ホテルにおける会議開催情報の調査・収集

仙台市内各ホテルより会議開催情報の収集を行った。

## ix. 観光コンベンションセミナー開催事業

仙台商工会議所文化観光部会と共催で、「平成30年新春懇談会」を開催した。講師として郡和子仙台市長に登壇いただき、「私の考える仙台の観光とまちづくり」と題した講演会を実施した。

- ・開催日 平成30年2月7日(水)
- ・場所 江陽グランドホテル 4階 「銀河」,「翡翠」
- ・参加者数 第1部 講演会 300名  
第2部 懇親会 200名

## ② 多文化共生等に関する調査研究広報事業

多文化共生社会の形成及び国際交流や国際理解などに関する様々な事業を推進するため、地域の現状及び各種課題に関する調査・研究を行った。また、市民の理解促進を図るための広報事業を行った。

### i. 多文化共生等に関する調査研究

多文化共生等にかかる現状や課題について情報収集するとともに、各種協議会や研修会への参加を通して関係機関とのネットワーク構築を図った。

- ・地域国際化協会連絡協議会総会（東京）
- ・東北・北海道国際化協会連絡協議会，研修会（仙台）
- ・日本語教育学会（東京）
- ・多文化共生マネージャー養成コース（滋賀）

### ii. 多文化共生等に関する広報

広報紙，メールマガジン，ホームページ運営等を通して協会事業や市民団体の活動紹介を行う他，防災や多文化共生事業について外部からの依頼により職員を講師として派遣した。

ア 「交流コーナーだより」の発行

2, 500部/月6回発行（日本語）

イ 「外国人市民向け情報誌 Sendai Lifestyle」の発行

1, 500部/年2回発行（日本語，英語，中国語，韓国語，ベトナム語，ネパール語）

ウ 「国際化事業部ホームページ」の運営

ブログ，facebook，twitter（日本語，英語，中国語，韓国語）

エ 「メールマガジン SenTIA メール」の配信

月5回程度発行（日本語，英語，中国語，韓国語）

1, 903名登録（日本語1, 066名，英語704名，中国語78名，韓国語55名）

オ 事業広報等のための講師派遣

派遣回数：12回，内容：防災・多文化共生について

### iii. 外国人の暮らしやすいまちづくりの推進に関する基礎調査

仙台市からの委託事業として，外国人の生活実態や生活上の課題を把握するためのヒアリング調査を実施した。

- ・調査項目 日常生活，子ども・教育，就労等
- ・調査方法 外国人市民及び関係機関等へのヒアリング調査
- ・調査件数 56回108名

## ③ 専門委員会調査研究事業

各事業の推進及び活性化を目的に，各専門委員会を設置し，外部有識者等からの意見・提言をいただき，各事業に活かした。

i. 観光専門委員会 平成29年8月29日（火）実施，9名参加

同 宿泊部会 第1回：平成29年 9月20日（水）実施，6名参加

第2回：平成29年11月15日（水）実施，6名参加

第3回：平成30年 1月17日（水）実施，5名参加

第4回：平成30年 3月28日（水）実施，5名参加

ii. コンベンション推進専門委員会 第1回：平成29年8月22日（火）実施，9名参加

第2回：平成30年3月13日（火）実施，8名参加

iii. 物産専門委員会 平成29年10月 5日（木）実施，12名参加

同 工芸部会 平成29年10月26日（木）実施，5名参加

- iv. 国際化専門委員会** 第1回：平成29年 6月21日（水）実施，7名参加  
第2回：平成30年 3月23日（金）実施，7名参加

## （2）情報発信事業

### ① 情報発信事業

国内外からの旅行者を誘致するために，仙台の最新の観光情報やイベント情報等を広く国内外に向けて情報発信した。また，多文化共生社会の形成を目的として，外国人市民の声や地域の現状等を各種媒体にて広く発信した。その他，当協会の機関紙を定期的に発行することで，当協会の事業活動内容を広く周知した。

#### i. 観光宣伝パンフレット作成

- ・仙台観光マップの作成配布  
配布数 380,638部（前年比107.6%）
- ・仙台シティマップの作成配布  
配布数 38,131部（前年比98.0%）

#### ii. 多言語版観光宣伝パンフレット増刷

- ・増刷部数：英語版 50,000部  
簡体字版 20,000部  
繁体字版 20,000部  
韓国語版 10,000部

#### iii. 仙台シティマップ増刷

- ・増刷部数：英語版 20,000部  
簡体字版 5,000部  
繁体字版 5,000部  
韓国語版 5,000部

#### iv. 仙台市公式観光Webサイト「せんだい旅日和」の活用による観光情報の発信

仙台市の観光，イベント情報，関連する役立ち情報等を紹介するWebサイトの運営，管理を行った。

- ・総アクセス件数 年間2,412,132件
- ・総ページビュー数 年間3,168,243ページビュー数

#### v. 機関紙発行

協会の概要や，各部の主な事業を紹介するため機関紙を発行すると共に，当協会の事業案内を作成した。

- ・協会機関紙の発行（年3回発行）  
9号 3,000部，10・11号 各1,000部発行
- ・賛助会員名簿の発行
- ・協会事業案内の発行



#### vi. 留学生等との協働による情報発信事業

Facebook やブログなどのソーシャルメディアを活用し、留学生などの外国人市民から見た仙台の魅力や復興の様子を世界に発信した。留学生交流委員OB・OGの協力も得て、海外における情報拡散を図った。

ア 留学生等による情報の発信

・情報発信 26件

・言語 日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語等

イ 仙台サポーターの委嘱

・新規委嘱 15名（延べ人数123名）

#### vii. 首都圏案内所等での情報発信事業

仙台のパンレットやプロモーションDVD等を東京駅に隣接する観光案内所「TIC TOKYO」にて配布、放映し、PRを行った。

### 6. 情報提供・交流促進に関する事業

地域の観光の発展と国際交流活動の促進を図り、もって地域社会の健全な発展を実現するための事業を行った。

#### (1) 観光情報施設の運営

##### ① 仙台市観光情報センター運営事業

仙台・宮城はもとより東北に来訪される観光客等を対象に、JR仙台駅において市内観光情報や東北広域情報の提供および相談案内を実施した。

・利用実績

	年間利用実績（4月～3月）
日本人	147,639名（前年度比 95.3%）
外国人	15,057名（前年度比 114.8%）
計	162,696名（前年度比 96.8%）

##### ② 仙台市作並・定義地区観光案内所運営事業

仙台市作並・定義地区の観光地や物産及び宿泊施設等を紹介することを目的に、当該地区を訪れる観光客を対象に、仙台市作並・定義地区観光案内所運営を実施した。

・利用実績（窓口案内・電話問合せ含む）

年間利用実績（4月～3月）
19,689件（前年度比 92.6%）

## (2) 国際交流拠点施設の運営

### ① 国際センター交流コーナー運営

仙台国際センター内の「交流コーナー」を運営し、国際交流や多文化共生の地域づくりに関わる市民に活動や学びの場を提供するとともに、幅広い交流の機会やにぎわいの場を創出した。また、生活及び地域の観光に関する情報を収集し、外国人市民、旅行者、国際センター来場者等へ多言語での情報提供を行った。さらに、関係機関や市民ボランティア等と連携して多言語による各種相談を行った。

- ア 開館日数 342日
- イ 入場者数 25,203人(日本人18,483人,外国人6,720人)  
1日平均73.7人(前年度比91.3%)
- ウ 相談受付数 4,682件(日本人3,124件,外国人1,558件)  
1日平均13.7件
- エ 図書貸出数 2,005冊(和書1,142冊,洋書863冊) 1日平均5.9冊
- オ 機材利用数 ビデオ/DVD 206回

#### i. 通訳サポート電話等を活用した相談支援

- ・455件(英語243件,日本語100件,中国語86件,ベトナム語16件,韓国語9件,ネパール語1件)

#### ii. 外国人観光案内所としての情報提供

- ・507件(日本人310件,外国人197件)

#### iii. 交流イベントの開催

「交流コーナーでCIR(国際交流員)と交流タイム」,「交流コーナーでGlobal Talk! 世界のはなしを聞いてみよう」,「外国絵本のおはなし会」等,国際理解・国際交流等を目的とするイベントを開催した。

- ・開催件数 8回
- ・参加者数 173人

#### iv. 「生活便利帳(多言語版)」の発行

- ・仙台生活便利帳改訂版(多言語合冊版) 3,600部

#### v. 「外国語で診療可能な医療機関(多言語版)」の発行

- ・1,469部配布(市内216か所に配布の他,交流コーナー来訪者に提供)

#### vi. 広報誌「交流コーナーだより」の発行

- ・交流コーナーだより(日本語版/一部英語併記) 2,500部/回(隔月発行)(再掲)

#### vii. 国際交流・国際協力・多文化共生に関わる団体の情報収集・提供

国際交流・協力,多文化共生推進のための活動など国際活動を行う市民団体に対して,情報提供や活動スペースの提供を通じ,活動を支援した。

- ・国際活動団体登録数:143団体
- ・交流コーナー内の市民活動スペース  
「研修室」及び「ワークショップ」の利用登録団体:76団体

## [収益事業]

### 1. 観光駐車場等管理運営事業

仙台を訪れる観光客の利便を図るため、仙台駅東口駅前広場観光・送迎バス乗降場の管理運営を行った。

#### (1) 観光駐車場等管理運営事業

##### ① 観光駐車場等管理運営事業

仙台駅東口駅前広場観光・送迎バス乗降場の管理運営

・利用実績

	平成29年4月1日～平成30年3月31日
利用台数	34,378台 (前年度比96.7%)
利用金額	18,757,500円 (前年度比96.2%)

### 2. 物産・銘産品等販売事業

#### (1) 物産・銘産品等販売事業

##### ① 仙台市作並・定義地区観光案内所における物品販売

仙台市作並・定義地区観光案内所におけるサービスの充実を図ることを目的に、観光客を対象に観光客が必要とする土産品等の販売を行った。

・JR作並駅売店における土産品、JR乗車券販売

年間販売実績	2,041,939円 (前年度比95.2%)
--------	------------------------

##### ② 物産品販売事業

仙台で開催されるコンベンションや県内外で開催される催事等において、仙台の物産振興と販路拡張を目的に、仙台の物産・銘産品の販売を実施した。

##### i. 「るーぷる仙台チョコQ作成販売」及び「名刺台紙の販売」

・販売実績

品名	平成29年4月1日～平成30年3月31日
るーぷる仙台チョコQ	4,480,184円 (前年度比159.4%)
名刺台紙	65,880円 (前年度比147.0%)

・るーぷる仙台チョコQ (政宗号) 新色作成・発売

##### ii. JR仙台駅物産展

・出店者数：23社

・総売上：10,968千円 (前年度比108.5%)

##### iii. コンベンション会場における物産販売

・実施件数 5件

・総売上 7,442千円